

令和6年度 山形市上下水道事業経営等懇話会

【 会 議 録 】

- 日 時 : 令和6年12月18日(水)午後2時00分～
- 場 所 : 山形市上下水道施設管理センター3階 第一、第二研修室
- 出席者 : 國方敬司委員、田牧大祐委員、永井悟委員、峯田益宏委員、森居俊明委員、石岡蘭子委員、斎藤一美委員、須貝稔委員、高橋慶多委員、山口範夫委員、石井圭子委員、鈴木淳子委員、高橋梢委員、星野みち子委員
上下水道事業管理者
- 事務局 : 上下水道部長、総務課長、経営企画課長、業務課長、水道管路維持課長、水道建設課長、下水道建設課長、浄水政策課長、水運用センター所長、浄化センター所長、雨水施設建設室長
経営企画課職員
- 傍聴者 : なし

<内容>

1 開 会

2 委嘱状交付

上下水道事業管理者から出席委員へ委嘱状が交付された。

3 上下水道事業管理者あいさつ

山形市の水道事業は、昨年度に通水100周年を迎え、下水道事業も昭和40年の供用開始からまもなく60年を迎えます。これまで、安全な水を安定的に供給するとともに、下水道整備による公衆衛生の向上など、市民生活の安心を支えることを使命として、取り組んでまいりました。

上下水道事業は、膨大な施設・管路からなる装置産業であります。山形市の貴重な財産であるとともに、現在のみならず将来の利用者の皆様にとっての財産です。この財産を維持していくためには、将来を見据えた経営・投資の判断が求められます。

上下水道事業は、利用者の皆様から頂戴する料金収入で経営を賄っておりますが、人口減少や節水機器の普及により収入が年々減少している一方、多くの施設・管路が老朽化し更新の時期を迎えているほか、昨今の物価高騰の影響もあり、大変厳しい状況にあります。

そのような中、昨年度に10年間を期間とする「山形市上下水道事業基本計画NEXTビジョン2023」を策定し、将来を見据えた着実な事業運営を推進するための指針を定めたところでございます。

本日は、山形市の上下水道施設を紹介しました後、山形市上下水道事業の概要と経営状況をご説明いたします。委員の皆様には、山形市の取り組みについて、また日頃から思っている上

下水道に対する印象などについて、忌憚のないご意見を頂戴できればと思いますので、よろしくお願いいたします。

4 事務局の紹介

5 座長及び副座長の選出

委員の互選により座長に國方委員、副座長に田牧委員が選出された。

【座長あいさつ】

これまでも山形市上下水道事業の懇話会や料金審議会に携わってきましたが、その中で感じたこととして、市民の皆様からすると、水道から水が出ることや下水道で汚水が処理されることは当たり前のことで、料金が高いというようなことばかりに目が行きがちだということです。

しかし、山形市では、地震などの災害が起きたときを想定した施設等の整備がされております。配水管の老朽化が進んでいる中で、それをきちんと更新しているといった点でも、山形市では施設の維持等にも力を入れております。そういったことは、なかなか市民の皆様には伝わっていないと思っております。ぜひ、この場を通じて皆様にも事情を知っていただき、周りの方にも伝えていただければと思います。

また、先ほど伊藤管理者からもありましたが、山形市だけでなく全国的に人口減少が急速に進んでおります。この状況が続くと上下水道料金はどうなっていくのか、施設の維持管理をどうしていくのかということは、喫緊の問題になっていくと思います。そういう点を踏まえて皆様から、忌憚のないご意見等を賜ればと思いますので、よろしくお願いいたします。

【副座長あいさつ】

國方座長からお話ありましたとおり、人口減少や物価高騰というような状況の中で、これからの施設の更新問題というのは、どこの事業体においても抱えている問題だと思っております。会計分野で支援している立場、また、市民の立場として、微力ながら関わることができればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

6 意見交換

(1) 山形市上下水道施設の紹介

(2) 山形市上下水道事業の概要について 資料1

(3) 山形市上下水道事業の経営状況について 資料2

【座長】

それでは、意見交換に入ります。委員の皆様からのご意見・ご質問等については、事務局からの説明が全て終わりましたら、まとめてお受けする時間を取らせていただきます。

では、「(1) 山形市上下水道施設の紹介」から「(3) 山形市上下水道事業の経営状況について」まで、一括して事務局から説明をお願いいたします。

(1) については山形市上下水道事業紹介映像、(2) (3) については資料に基づき事務局から説明。

【座長】

説明ありがとうございました。それでは、資料や説明についてご意見やご質問を賜りたいと思いますが、いかがでしょうか。

＜意見・質問なし＞

では、せっかく本日ご出席いただきましたので、これまでの説明のほかに、日頃から水道や下水道について感じているなど、ご意見を一言ずつ発表していただければと思います。

【委員】

改めまして、山形市の水道・下水道を安心安全に使わせていただいていることに感謝申し上げます。私自身、公営企業の経営支援を行っている中で、全国的に人口減少や更新問題が課題となっております。以前、日本一水道・下水道料金が低いと言われていた夕張市の財政課長と意見交換をする機会があったのですが、その中でライフラインに関する開示の重要性ということを感じました。現状、山形市の上下水道事業については、悪い状況ではないと認識しておりますが、これから人口減少が進んでいくにあたって、料金改定などの検討をしていく必要がある際には、ホームページ等で情報を発信していただければと思います。

【委員】

都市ガス会社として、上下水道事業と同じような悩みを持っております。ガスも水道と同様に管を通して皆様に供給しておりますが、100年を超えてガス供給を行っており、今まで使っていた鉄製の管の老朽化が進むと、ガスが漏れてしまうようなことが起きるため、耐震性に優れたPE管（ポリエチレン管）に更新をしているのですが、工事費が高くなっている状況であります。

これまでもやってきておりますが、管の更新について同じように計画をして、同じ場所で可能なところは一緒に更新を行うなど、今後も計画的にお互いにコストダウンを図っていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【委員】

昨今 PFAS について全国的に話題になっており、山形市についても基準値を下回る量ですが、確認されていると思います。確認されている原因が分かりましたら教えてください。

【事務局】

PFAS の検出につきまして、令和6年度は見崎浄水場の原水と浄水から1ng/Lの検出が確認されております。見崎浄水場の水源は最上川であります。最上川のどこから入ってきているのかというところまでは把握できていない状況です。今後も原水及び浄水の調査を継続して行っていきたいと思っております。

【委員】

原因は分かっていないという認識でよろしいでしょうか。

【事務局】

はい。

【委員】

説明の冒頭で上下水道部は地方公営企業であるということで、県立病院についても同様に地方公営企業であり、人口減少や施設の老朽化などの影響で厳しい経営状況にあるということは共通する点でしたので、関心を持って聞かせていただいております。

また、当然のように日常的に水道を使用しており、実際にどのようにして事業が成り立っているのかということまでは分かっていなかったのが非常に参考になりました。

事業の内容までは市民の皆様にもなかなか伝わっていないのではないかと思いますので、広報による周知が非常に重要になってくるのかなと感じました。

【委員】

冒頭の國方座長のあいさつにあったとおり、料金が高いという認識が先走っており、なかなか事業の中身までは分かっておりませんでした。

知る機会というのが日頃暮らしていてあまりないと感じるので、市報やチラシで目にする機会が増えると、もっとありがたみを持って上下水道を使えるのではないかなと思いました。

【委員】

本日は山形市上下水道事業の様々な情報を分かりやすくご説明いただきありがとうございます。私は高瀬地区で田んぼを作っているのですが、周りの農家の方から話を聞くと、春先になると水道水を使用して、苗代や野菜に水かけをするということで、その時期には相当水道代がかかるということでした。

農家の方に対して、水道代が安くなるような対策などはあるのでしょうか。

【事務局】

料金について、農家の方に対する特別な対策などはございません。一般家庭や企業も基本的に全て同じ料金となっております。公衆浴場についてだけ、別の料金表を定めて安く使用できるようになっておりますが、それ以外については同一の料金となっております。山形市の料金のしくみなどにつきましては、次回以降の懇話会でご説明させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【委員】

日頃から、山形市の水は美味しいと感じておまして、ペットボトルに入れたりして飲んでおります。本日は図やグラフなどで上下水道について分かりやすくご説明いただきまして、非常に勉強になりました。これからも安心して飲める水を届けていただきたいと思います。

【委員】

本日の懇話会に参加するにあたって、園長会で水道について話を聞いたところ、やはり水道代が高いという意見が一番多く挙がっていました。今回お話を聞くまで、地震対策や計画的に配管の整備を行っているということは分かっておらず、ただ水道代が高いということだけを感じておりましたので、今日ご説明いただいたことを園長会でも他の先生方にも伝えたいと思います。

水道水は生活の中で大切な水である上に、子供たちが遊びながら、土と水が混ざる感触や水の冷たさ、季節によって水道から出てくる水の温度が変わったりするというのは、子供たちの学びにも繋がるので、ただ蛇口から出てくる水ではないということも分かりやすく伝えていきたいと思えます。

【委員】

これまで安心して安全な水を当たり前に使っておりましたが、今日の話を知ると、上下水道部の皆様の努力の賜物で命の水を繋いでいただいているのだと感じました。改めて感謝申し上げます。

PFAS について、大々的にテレビでも取り上げられて話題になっていたため調べてみたところ、山形市では、不検出であったり、検出されたとしても基準を下回っておりましてので安心したところでございますが、消費者目線からすると少量の検出であっても気になるところではございますので、今後も情報の開示をきちんとしていただけると助かります。また、原水や浄水で検出されたものがコンポストとして出ていってしまうのではないかとということも気になるところでございます。

最後に、上下水道事業紹介映像で出てきました水道施設見学会にぜひ参加させていただきたいと思えます。

【事務局】

下水道の PFAS に関しましては、国で定める法的な規制はまだないのですが、今年度は水道と同様に、下水道に関しましては汚水とコンポストについて PFAS の検査を行います。来年度についても予算計上をして検査を行いますので、皆様に結果をお知らせしたいと思えます。

【委員】

水道の懇話会に参加するという事で、美容室のお客様に水道について話を聞いてみました。先ほど話に出ました PFAS について、一般のお客様も関心があるようでした。また、ほかの地域からの転勤などで山形市に暮らしている方は、やはり水道代が高いとおっしゃっていましたが、都内から来た人は水道から直接水を飲んでも美味しいということもおっしゃってました。

仕事で毎日水を使っている中で、地震などの災害時に断水することなく水を使わせていただいていることに感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

【委員】

下水道事業において、多額の企業債残高があるということでしたが、具体的にどのくらいなのか分かりましたら教えていただきたいと思えます。

【事務局】

下水道の企業債残高は、約 700 億円あります。ピーク時は約 1,100 億円ありましたが、償還額よりも借入額を少なくすることによって、約 400 億円残高が減っている状況でございます。

【委員】

水道から水が出ることや、下水道で汚水が処理されることが当たり前じゃないということを市民の皆様が知る機会というのはあまりないと感じています。小さいころから浄水場などの施設の見学

をしたり、上下水道に触れる機会があると、水道代が高いということではなく、地域のために様々なことをしているからこのくらいの水道代になるんだと考えることができるのではないかと感じました。

【委員】

能登半島地震の被害状況などを見て、施設の耐震化が非常に遅れていると感じております。経営が厳しい中だと思いますが、施設の耐震化を推進していただきたいと思えます。

【座長】

委員の皆様ありがとうございました。ほかにご意見等はございますでしょうか。

何もないようですので、意見交換を終了し、座長としての任を解かせていただきます。円滑な進行にご協力いただき、ありがとうございました。

7 閉 会